



馬頭高校には、普通科と水産科があります。単位制の導入により、自分の進路に合った多様な選択科目の受講が可能となりました。この中の普通科選択科目に「農業と環境」および「野菜」が設定され、将来、農業に従事する上での基礎的な学習もできるようになりました。令和5年度は栽培だけでなく、農業の持つ多面的機能や地域交流の学習として、こども園との収穫体験交流や町内小中学校の給食への食材提供、小学校への出前授業などに取り組み、「総合的な探究の時間」も含め、幅広いニーズに対応できる活動を行っています。

普通科選択科目「農業と環境」

学校農場での栽培活動を通して、農業技術の基礎と地域と連携した農業の在り方について体験的な学習を行います。普通科に農業の科目が設定されて5年目となります。西洋野菜を主とした露地野菜の栽培を中心に、地域に貢献できる人材の育成をめざし、地産地消や小学校への出前授業などの実践学習に取り組み、地域活性化に協力しています。



令和5年度の主な取り組み内容

町立こども園との交流授業「ジャガイモ・タマネギ・ダイコンの収穫体験」（7・12月）、小学校への出前授業（12月）、町給食センターへの超大球キャベツの提供（7・11月）、ドローン操作、アシストスーツ装着などスマート農業の体験。

水産科の主な活動 ～水に親しみ、水から学ぶ～

全国唯一の海なし県に設置された水産に関する学科です。特徴は、水産物の増養殖、食品加工、水辺の環境保全など多岐に渡って学習できることです。関係機関と連携し、教育課程に連動した様々な研究活動を行っています。主な進学先は4年制大学や専攻科、海上技術短期大学校等で就職先は県内外の養殖場や水産加工会社を中心に、各種生産業・製造業等です。

課題研究

水産に関する学習内容の中から、興味のある分野の研究を主体的に行う課題解決型授業です。

リバースタディ

学校設定科目「リバースタディ」は、河川における自然体験活動を中心とした自由選択科目です。「農業と環境」の修得と合わせると、普通科生徒も農業・水産に関して学習することができます。



水産加工品製造



カヌー&和舟実習



ヤシオマス採卵実習



河川調査